保証書　持込修理　無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
   (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
   (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   (ホ)本書のご提示がない場合
   (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合
   (但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
   (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	ステレオCDラジオ			★お買い上げ日:　年　月　日
型　番	RCR-400H -W/K/P	品　番	07-8330/8331/8332	保証期間:本体1年間(お買い上げの日から)

お客様	★お名前　様
	★ご住所　〒　ー 電話　(　)

修理メモ

販売店	★住所　店名　電話 ㊞

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM　株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは　お客様相談室へ
●通話料無料　0120-963-006
●携帯・IP・公衆電話からは　048-992-2735
電話受付　平日 9:00〜17:30　土曜 9:00〜17:00
日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は　修理ご相談センターへ
電話受付　048-992-3970　平日 9:00〜17:00
土・日・祝日及び年末年始は除きます

07-8330/8331/8332A

AudioComm®

取扱説明書
保証書付

ステレオCDラジオ

型番:RCR-400H-W/K/P　品番:07-8330/8331/8332

このたびは、AudioComm®ステレオCDラジオをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

もくじ

免責事項……1
安全上のご注意 ……1～3
ご使用になる前に ……4
電源について ……5
各部の名称……6
ラジオ放送を聴く ……7
CDを聴く ……8～11
ヘッドホンで聴く ……11
外部機器に接続する ……12
故障かなと思ったら ……13
主な仕様……13
お手入れ方法……14
保証書とアフターサービスについて……14
保証書……裏表紙

免責事項　下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- ●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- ●本製品によって生じたデータの消失または破損
- ●本製品のために費やした時間及び経費
- ●本製品を運用した結果もたらされた損害
- ●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- ●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって３段階に表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

△記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
（左図の場合は「感電注意」が描かれています。）

○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
（左図の場合は「分解禁止」が描かれています。）

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
（左図の場合は「ACアダプターをコンセントから抜く」が描かれています。）

⚠警告

コンセントから抜く	**万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに本機の電源を切り、必ずACアダプターをコンセントから抜く** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。	禁止	**本製品を使用するときは必ず付属のACアダプターを使う。 また、付属のACアダプターは絶対に他の製品には使用しない** ●付属のACアダプターは本製品専用です。 ●製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。
コンセントから抜く	**万一、内部に異物や水などが入った場合は、ACアダプターをコンセントから抜く** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店にご連絡ください。	禁止	**ACアダプターのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない** ●コードが破損して火災・感電の原因となります。
分解禁止	**本機を分解、修理、改造しない** ●火災・感電の原因となります。	禁止	**本機やACアダプターのコードの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない** ●コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
禁止	**表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない** ●火災・感電の原因となります。	修理を依頼	**ACアダプターのコードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、使用を中止する** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●修理をご依頼ください。
禁止	**海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない** ●火災の原因となります。 ●この機器を使えるのは日本国内のみです。	禁止	**ACアダプターのコードを敷物などで覆わない** ●気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。
接触禁止	**雷が鳴り始めたら、安全のためACアダプターをコンセントから抜く**	水かけ禁止	**浴室やシャワー室、台所、加湿器のそばなど、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しない** ●火災や感電の危険があります。

⚠注意

禁止	**ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない** ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。	禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない** ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。
禁止	**ACアダプターのコードを熱器具に近づけない** ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	禁止	**ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らない** ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずアダプター本体を持って抜いてください。
禁止	**CDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まない** ●レーザー光が目に当たると聴力障害を起こすおそれがあります。		

⚠注意

禁止	**ほこりの多い場所に置かない** ●火災・感電の原因となることがあります。
ぬれ手禁止	**ぬれた手でACアダプターを抜き差ししない** ●感電の危険があります。
指を挟まれないように注意	**お子様がCD扉内に手を入れないように注意する** ●けがの原因となることがあります。
コンセントから抜く	**お手入れの際や移動させるときはACアダプターをコンセントから抜く** ●コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
アンテナに注意	**移動させるときはアンテナを縮める** ●伸ばしたまま持ち運ぶと引っ掛かったり折れたり、けがの原因になることがあります。
極性に注意	**乾電池を挿入する場合、極性表示(⊕⊖)に注意し、正しく入れる** ●乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
禁止	**指定以外の乾電池は使わない** ●乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
禁止	**電磁波を発生させる機器(テレビ、モニターなど)に近づけない** ●電磁波により、お互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。
音量は小さく	**電源を入れる前に音量を抑える。また使用中も音量を上げすぎない** ●突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。 ●ヘッドホンにて使用時に音量を上げて長時間聴くと、周囲の迷惑になるとともに、聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。
コンセントから抜く	**旅行などで長時間本機をご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプターをコンセントから抜き、乾電池も取り外す** ●火災・液もれの原因となることがあります。
掃除をする	**ACアダプターとコンセントの接続部を定期的に掃除する** ●ACアダプターとコンセントの間にほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。 ●使用環境にもよりますが、2年に1回程度、機器内部の掃除をお勧めします。最寄りの販売店にご相談ください。

乾電池を安全にお使いいただくために

乾電池の液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

警告	●火中への投入、加熱、分解をしない ●乾電池を幼児に触らせない ●ショートさせない ●新しい乾電池と使用した乾電池、種類の異なる乾電池(マンガンとアルカリ)を混ぜて使わない	注意	●⊕⊖の表示通りに入れる ●指定以外の乾電池を使わない ●使い切った乾電池はすぐに取り出す ●しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
●万一お子様が乾電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
●万一もれた液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。失明の原因となります。
●使用済みの電池を廃棄するとき、自治体の条例などで決まりがある場合にはそれに従って廃棄してください。

ご使用になる前に

CDについて

●本機は通常の音楽CDのほか、CD-R、CD-RWディスクの再生に対応しています。

●ディスクに右のマークが入ったものをご使用ください。

ご注意

●CD-R/RWディスク、レコーダー、書き込みソフトウェアの種類、状態によっては、再生できなかったり、ノイズ、音飛びが生じる場合があります。
●ファイナライズ処理のなされていないディスクは再生できません。
●本機ではMP3やWMAなど、圧縮されたフォーマットの音楽ディスクの再生はできません。
●DualDisc(デュアルディスク)については、コンパクトディスク(CD)規格に準拠していないため、動作・音質を保証できません。
●現在発売されている「コピーコントロールCD」と呼ばれる著作権保護技術付音楽ディスクは、コンパクトディスク(CD)規格に準拠しない特殊ディスクであり、本製品における再生にあたりましては、動作や音質の保証は致しかねます。音楽ディスクパッケージの表示をよくお読みください。なお、「コピーコントロールCD」の詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

CD取扱上のご注意

●ひびやそりのあるディスクは絶対に使わないでください。

●再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

●長い時間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

●再生面を触れないように持ってください。

●信号面(虹色に光っている面)を傷つけたり、指紋などが付かないように持ってください。指紋や汚れが付いたときは、柔らかい布などで中心から放射状に軽く拭き取ってください。

●ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となります。

結露について

寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が起こります。この状態でご使用になると、正しく動作しないことがあります。このようなときはディスクを取り出して、数分間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

電源について

⚠ ACアダプターを抜き差ししたり、乾電池を出し入れするときは、電源スイッチを切にして、電源が切れた状態で行ってください。

⚠ 電源を切る前には音量を最小にしてください。次に電源を入れて操作したとき、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

家庭用コンセントで使うには

付属のACアダプターを左側面にあるDC入力端子へ接続した後、家庭用コンセントへ差し込んでください。
※乾電池が入っている場合でも、ACアダプターを接続すると自動的にAC電源に切り換わります。
※本機を使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

ご注意

付属のACアダプターは本製品専用です。本製品を家庭用コンセントでご使用の際には必ず付属のACアダプターをお使いください。また、付属のACアダプターは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

乾電池(別売)で使うには

1. 本機底面の電池カバーを、ツメを外して開けてください。
2. 単２形乾電池(別売)を４本、⊕⊖の向きに注意しながら正しく入れます(下図参照)。
3. 乾電池を入れ終えたら、電池カバーを元通りにパチンと音がするまで閉めてください。

単２形乾電池 ×４本 (別売)

※乾電池で使うときは、ACアダプターがDC入力端子から抜かれていることをお確かめください。接続されたままですと乾電池では使用できません。
※乾電池交換の目安として、乾電池が消耗すると、雑音が多くなったりします。このような状態になったら、乾電池を新しいものと交換してください。

アルカリ乾電池をぜひご使用ください

マンガン乾電池、充電式乾電池では
使用可能時間が短くなります。

各部の名称

上面

前面

背面

①CD扉/開ボタン
②ファンクション切換スイッチ
③FMアンテナ
④電源スイッチ
⑤選局ツマミ
⑥バンド切換スイッチ
⑦キャリーハンドル
⑧電源ランプ
⑨選局指針
⑩選局目盛り
⑪FMステレオランプ
⑫ランダムボタン
⑬リピートボタン
⑭プログラムボタン
⑮FMステレオボタン
⑯左スピーカー
⑰再生／一時停止ボタン
⑱スキップボタン(＋)
⑲スキップボタン(－)
⑳停止ボタン
㉑ディスプレイ
㉒右スピーカー
㉓CD扉
㉔外部音声入力端子
㉕ヘッドホン端子
㉖DC入力端子
㉗音量ツマミ
㉘電池カバー

左側面

右側面

底面

ラジオ放送を聴く

1. **電源スイッチを入にします。**
   ※電源が入ると電源ランプが点灯します。
2. **ファンクション切換スイッチをラジオに合わせます。**
3. **バンド切換スイッチをAM、FMのいずれかに合わせます。**
4. **選局ツマミを回して、お聴きになりたい放送局に合わせます。**
5. **音量ツマミを回して、音量を調節します。**
   ※近隣への迷惑にならないよう、音量には十分注意してください。
6. **ラジオを切るときは、電源スイッチを切にします。**
   ※電源が切れると電源ランプも消灯します。
   ※ファンクション切換スイッチをCDや外部入力に合わせても電源は切れません。

ヒント

●FMステレオ放送を良好な状態で受信すると、FMステレオランプが点灯します。
●FMステレオ受信時にFMステレオボタンを押すと、ステレオ出力とモノラル出力の切換えができます。雑音などで聴きづらいときは、モノラルにすることで雑音が緩和されることがあります。

受信状態をよくするには

●AM放送の受信
本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合、窓際のほうが良く受信できます。

ご注意

テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離してご使用ください。

●FM放送の受信
FMアンテナを伸ばし、本機の向きや場所を変えて受信状態が最も良くなるように調節します。

ご注意

持ち運ぶときは、必ずFMアンテナを縮めてください。キャリーハンドルなどに当たって破損や故障に原因となったり、目をついたりしてけがの原因となります。

CD を聴く

ご注意

CDを取り出す際は、CD扉の窓からディスクの回転が止まったことを確認してください。回転中に扉を開けるとCD面が傷ついたり、けがの原因になります。

1. **電源スイッチを入にします。**
   ※電源が入ると電源ランプが点灯します。
2. **ファンクション切換スイッチをCDに合わせます。**
3. **CD扉／開ボタンを押して背面のCD扉を開け、レーベル面を手前側にしてディスクをしっかりと装着します。装着し終えたら、CD扉の右上部を指で押して扉を閉めます。**

4. **CD扉を閉めると自動的にディスクが回転し、収録されている曲数がディスプレイに表示されます。曲目を選ぶ場合は、スキップボタン（＋／−）を押してください。選択しない場合は1曲目からの再生になります。**

5. **再生／一時停止ボタンを押すと再生が始まります。**

6. **音量ツマミを回して、音量を調節します。**
   ※近隣への迷惑にならないよう、音量には十分注意してください。
7. **再生中に再生／一時停止ボタンを押すと、再生を一時停止します。もう一度押すと、再生を再開します。**
8. **再生を止めるときは、停止ボタンを押します。**
9. **電源を切るときは、電源スイッチを切にします。**
   ※電源が切れると電源ランプも消灯します。

スキップ再生／サーチ再生

●スキップ再生

・再生中にスキップボタン（+）を押すごとに、次の曲に進んで曲の最初から再生します。

・再生中にスキップボタン（−）を押すとその曲の最初に戻って再生します。2 回続けて押すと前の曲の最初から再生します（押すごとに前の曲に戻って再生します）。

●サーチ再生

・再生中にスキップボタン（+）を押し続けると早送りになります。

・再生中にスキップボタン（−）を押し続けると早戻しになります。

※小さな再生音が聴こえるので、その音を参考にしながら希望のところで指を離すと、そこから再生します。

リピート（繰り返し）再生

●1 曲リピート再生

・再生中にリピートボタンを 1 回押すと、聴いている曲を繰り返し再生します（ディスプレイに「RPT 1」と表示されます）。

・再生前にリピートボタンを押した場合は、スキップボタン（+／−）で曲を選んでから再生／一時停止ボタンを押すと、その曲を繰り返し再生します。

●全曲リピート再生

・再生中、または再生前にリピートボタンを 2 回押すと、全曲リピートモードになり、ディスク内の全曲が繰り返し再生されます（ディスプレイに「RPT ALL」と表示されます）。

ヒント

リピート再生を解除するには、ディスプレイの「RPT」表示が消えるまで、リピートボタンを 1 回または 2 回押します。

プログラム再生

ご注意 プログラム登録は再生停止中に行ってください。

1 **再生停止中にプログラムボタンを押します。**
ディスプレイに「01」とプログラムマークが点滅します。
※このとき点滅する「01」は、1 番目の登録（登録順）を意味します。

2 **スキップボタン（+／−）を押して登録したい曲番号を選び、再度プログラムボタンを押して確定します。**
※ディスプレイに「02」が点滅し 2 番目に登録したい曲を選択できるようになります。

3 **ステップ 2 の操作を繰り返して、お好みのプログラムを登録します（最大 20 曲まで登録できます）。**

4 **再生／一時停止ボタンを押すと、登録した順番で再生が始まります。**
プログラム再生中はプログラムマークが点灯します。

5 **再生を止めるときは、停止ボタンを押します。**
※停止ボタンを 1 回押した場合、再生は停止しますが登録したプログラムは残っています（プログラムマークも点灯）。この状態で再生／一時停止ボタンを押すと、プログラムの最初から再生します。
※停止ボタンを 2 回押すと、再生が停止しプログラムも解除されます（プログラムマーク消灯）。

曲番号を選び、プログラムボタンを押すと曲番号が確定し、2 曲目を選べるようになります。

ヒント

●何も操作しない時間が約25秒間続くとプログラム登録操作がキャンセルされます。その場合は最初からやり直してください。

●以下のいずれかの操作をするとプログラムが解除されます。
・CD 扉を開ける　・ファンクション切換スイッチをラジオまたは外部入力にする　・電源を切る

●プログラム再生とリピート再生を併用すると、プログラムした曲順で繰り返し再生することができます。プログラム再生中にリピートボタンを1回押すと、その曲を繰り返し再生し（ディスプレイに「RPT　1」を表示）、もう一度押すと、プログラムした全曲をリピート再生します（ディスプレイに「RPT　ALL」を表示）。リピートを解除するには、ディスプレイの「RPT」表示が消えるまで、リピートボタンを1回または2回押します。

●プログラムを修正するには、再生前にプログラムボタンを押して変更したい曲順番号を選び、次にスキップボタン（+／−）を使って曲番号を変更し、最後にプログラムボタンを押して確定させてください。

CD を聴く（つづき）

ランダム再生

ご注意 プログラム再生中はこの機能は使えません。

前 面

再生中または停止中にランダムボタンを押すと、ランダム再生になります（ディスプレイにランダムマークが表示されます）。

●再生中に押した場合

再生中の曲をスキップし、次の曲からランダムに選んで再生します。

●停止中に押した場合

そのままランダム再生が始まります。

ヒント

●停止ボタンを押すと、再生が停止し、ランダム再生が解除されます（ランダムマーク消灯）。

●ランダム再生中にもう一度ランダムボタンを押すと、ランダム再生が解除され、通常の再生に戻ります。

●ランダム再生中にリピートボタンを１回押すと、再生中の曲を繰り返し再生します。

●ランダム再生中にリピートボタンを２回押すと、ディスク内の全曲を順不同で繰り返し再生します。

ヘッドホンで聴く

別売のヘッドホン（φ3.5mmステレオミニプラグ）を、本機左側面にあるヘッドホン端子につなぎます。ヘッドホンをつなぐとスピーカーからの音は聴こえなくなります。

ご注意

ヘッドホンをご使用の際は、本機の音量を下げた状態でヘッドホン端子に接続してください。また、使用時の音量の上げすぎにもご注意ください。聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。

外部機器に接続する

別売のφ3.5mmステレオミニプラグコードを使って、外部機器（ポータブルCDプレーヤー、MD、デジタルオーディオプレーヤーなど）と接続し、音楽や音声を楽しむことができます。

上 面

❶ **本機および外部機器の電源が入っている場合は電源を切ります。**

❷ **本機のファンクション切換スイッチを外部入力に合わせます。**

❸ **φ3.5mmステレオミニプラグコード（別売）を使って、外部機器の音声出力端子またはヘッドホン端子と、本機の外部音声入力端子を接続します。**

❹ **本機と外部機器の電源を入れます。**

❺ **外部機器側で再生などの操作をします。**
※音量の調節は、本機・外部機器のどちらでも可能ですが、できるだけ本機の音量は一定に保ち、外部機器側で操作するようにしてください。本機の音量設定を大きくしすぎると、他のファンクションに移行したとき、思わぬ大音量になるおそれがあります。

❻ **終了するときは双方の電源を切ります。**
接続を解除するときは、必ず双方の機器の電源を切ってから行ってください。

故障かなと思ったら

症　状	チェック項目
●全　般	
・電源が入らない	□AC アダプターがしっかりとコンセントに差し込まれていますか。
	□乾電池が消耗していませんか。乾電池の向きは正しいですか（乾電池利用時）。
・音が出ない	□音量が最小になっていませんか。
	□ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれていませんか。
●CD 部	
・CD の再生が始まらない	□CD が裏返しに入っていませんか。
	□CD がひどく汚れていませんか。
	□規格外のディスクが入っていませんか。
	□レンズが汚れていませんか。
	□CD 扉はしっかりと閉まっていますか。
	□ファンクション切換スイッチは CD が選ばれていますか。
・CD の音が出ない	□一時停止状態になっていませんか。
	□外部音声入力端子にφ3.5mm ステレオミニプラグが接続されていませんか。
・CD の音がとぶ	□結露状態になっていませんか。
	□レンズがひどく汚れていませんか。
	□強い振動を与えていませんか。
	□CD に大きな傷やひどい汚れがありませんか。
●ラジオ部	
・ラジオに雑音が入る	□近くで携帯電話を使用していませんか。
	□テレビや蛍光灯の近くで AM 放送を受信していませんか。
	□外部音声入力端子にφ3.5mm ステレオミニプラグが接続されていませんか。
●その他	
・ラジオは聴けるが CD が動かない	□乾電池の消耗がかなり進んでいます。新しい乾電池と交換してください（乾電池使用時）。

主な仕様

■電　　源	：専用ACアダプター（DC6V　600mA　⊖◉⊕：付属） DC6V 単２形乾電池×4本（別売）
■実用最大出力	：0.5W×2
■受信周波数	：FM　76.0～108MHz　AM　530～1605kHz
■アンテナ	：FM　ロッドアンテナ　AM　フェライトバーアンテナ（内蔵）
■外形寸法	：幅 186mm x 高さ 163mm x 奥行68mm　（突起物を除く）
■質　　量	：約690g（乾電池含まず）
■付属品	：専用ACアダプター、取扱説明書（保証書付）
■乾電池使用時の連続使用可能時間の目安	：※アルカリ乾電池新品使用、音量中程度の場合 スピーカー出力時／ AMラジオ：約156時間　FMラジオ：約153時間　CD：約12時間 ヘッドホン使用時 ／ AMラジオ：約208時間　FMラジオ：約204時間　CD：約14時間

※乾電池による連続使用可能時間の目安は使用状況により異なります。※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
※取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

お手入れ方法

本体のクリーニング

本体の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しない

CD プレーヤー・レンズ部のクリーニング

レンズの汚れは音とびなど、再生ができなくなる原因となります。CD 扉を開け、レンズについたほこりやゴミを市販のブロワーでクリーニングしてください。
※レンズ部分に布や綿棒などを当てたり、こすらないでください。故障の原因となります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より１年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。